

Dell™ PowerVault™ 745N NAS システム ユーザーズガイド

[システムの概要](#)

[セットアップユーティリティの使い方](#)

[仕様](#)

[用語集](#)

メモ、注意、および警告



メモ: コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

このマニュアルの内容は予告なしに変更されることがあります。

© 2003 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. からの書面による許可なしには、いかなる方法においてもこのマニュアルの複写、転載を禁じます。

このマニュアルに使用されている商標: Dell, DELL のロゴ, PowerEdge, および Dell OpenManage は、Dell Inc. の商標です。Intel, Pentium, および Celeron は、Intel Corporation の登録商標です。Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。Novell および NetWare は、Novell, Inc. の登録商標です。Red Hat は、Red Hat, Inc. の登録商標です。米国およびその他の国において、UNIX は、The Open Group の登録商標です。

このマニュアルでは、上記以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

2003 年 11 月 P/N C3563 Rev. A00

[目次ページに戻る](#)

仕様

Dell™ PowerVault™ 745N NAS システム ユーザーズガイド

プロセッサ	
プロセッサの種類	内部動作周波数 2.8 GHz 以上、FSB 速度 800 MHz の Intel® Pentium® 4 プロセッサ または 内部動作周波数 2.4 GHz 以上、FSB 速度 400 MHz の Intel Celeron® プロセッサ または 内部動作周波数 3.4 GHz 以上、FSB 速度 800 MHz の Intel Celeron プロセッサ

拡張バス	
バスの種類	PCI × 1、PCI-X × 1
拡張スロット	PCI-X 64 ビット / 66 MHz 3.3 V スロット × 1、PCI 32 ビット / 33 MHz 5 V スロット × 1。両方のスロットがフルハイトとハーフレングスカードをサポートします。

メモリ	
アーキテクチャ	PC-3200 / バッファなし DDR400 SDRAM
メモリモジュールソケット	4
メモリモジュール容量	256 MB、512 MB、または 1 GB
最小メモリ容量	512 MB
最大メモリ容量	4 GB

ドライブ	
ハードドライブ	SATA ハードドライブ × 2 または 4

ポートおよびコネクタ	
背面パネル:	
シリアル	9 ピンコネクタ × 1
ネットワークアダプタ	内蔵 10 / 100 / 1000 ネットワークアダプタ用の RJ45 コネクタ × 2
USB	USB 2.0 4 ピンコネクタ × 2
PS/2 型キーボード	6 ピンミニ DIN コネクタ
PS/2 互換マウス	6 ピンミニ DIN コネクタ
ビデオ	15 ピンコネクタ × 1
正面パネル:	
USB	USB 2.0 4 ピンコネクタ × 1
ビデオ	15 ピンコネクタ × 1

ビデオ	
ビデオの種類	ATI Rage XL PCI ビデオコントローラ VGA コネクタ
ビデオメモリ	8 MB

電源	
電源装置:	
ワット数	280 W
電圧	100 ~ 240 VAC、50 ~ 60 Hz
出力ホールドアップ時間	最小 20 ミリ秒
最大入電流	通常のラインコンディションのもと、システムの操作可能範囲を越えて、入電流が電源装置 1 台につき 10 ミリ秒以下で 30 A に達することがあります。

システムバッテリー	3.0 V コイン型リチウムイオンバッテリー
-----------	------------------------

サイズと重量	
高さ	4.2 cm
幅	42.5 cm
奥行き:	
オプションのベゼルを含む	59.7 cm
重量	11.8 kg (最大構成)

環境	
温度:	
動作時	10 °C ~ 35 °C (海拔 3,000 m で) 10 °C ~ 40 °C (海拔 0 m で)
保管時	- 40 °C ~ 65 °C
相対湿度:	
動作時	20 % ~ 80 % (結露しないこと)
保管時	5 % ~ 95 % (結露しないこと)
最大振動:	
動作時	15 分間に 3 ~ 200 Hz で 0.25 G
保管時	15 分間に 3 ~ 200 Hz で 0.50 G
最大衝撃:	
動作時	x、y、z 軸の正および負方向に 1 つの衝撃パルス (システムの側面ごとに 1 パルス)、2 ミリ秒以下で 31 G
保管時 (非動作時)	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス (システムの側面ごとに 1 パルス)、2 ミリ秒以下で 71 G
高度:	
動作時	- 16 m ~ 3,048 m
保管時	- 16 m ~ 10,600 m

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

システムの概要

Dell™ PowerVault™ 745N NAS システム ユーザーズガイド

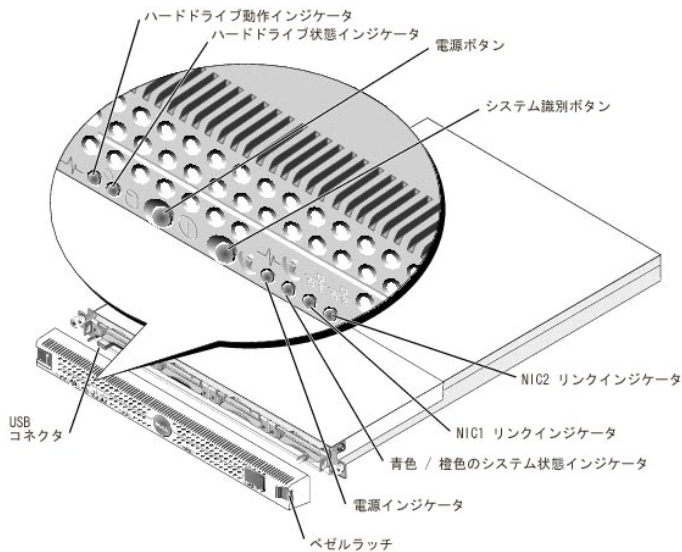
- [正面パネルの機能](#)
- [背面パネルの機能](#)
- [システムの機能](#)
- [ソフトウェアの機能](#)
- [オペレーティングシステム](#)
- [電源保護装置](#)
- [その他のマニュアル](#)
- [テクニカルサポートを受けるには](#)

この章では、正面および背面パネルインジケータを含む主要なハードウェアとソフトウェアの機能、外付けデバイスの接続方法、および電源保護装置の使い方について説明します。また、システムを取り付けたり操作するために必要なその他のマニュアルを一覧表示するとともに、テクニカルサポートの受け方についても説明します。

正面パネルの機能

[図 1-1](#) に、システムの正面パネルの機能およびインジケータを示します。ベゼルを取り外して正面パネルのスイッチおよびインジケータにアクセスするには、ベゼルの両端にあるラッチを押します。[図 1-1](#) を参照してください。

図 1-1. 正面パネルの機能



電源ボタンは、システムの電源装置への電源入力を制御します。

正面パネルと背面パネルの 2 つのシステム識別ボタンは、ラック内の特定のシステムの位置を確認するために使用されます。これらのボタンのうちの 1 つが押された場合、またはシステムを識別するためにシステム管理ソフトウェアを使用すると、システムの正面と背面にある青色のシステム状態インジケータが点滅します。(点滅を止めるには、識別ボタンのうちの 1 つをもう一度押すか、システム管理ソフトウェアを使用します。)

正面パネルには USB 2.0 コネクタも組み込まれています。[図 1-1](#) を参照してください。

[表 1-1](#) では、システムの正面パネルインジケータについて説明します。

表 1-1. 正面パネルの LED インジケータ

LED インジケータ	説明
青色/橙色のシステム状態インジケータ	<p>青色のシステム状態インジケータは、通常のシステム動作中に点灯します。特定のシステムを識別するために、システム管理ソフトウェアを使ってこのインジケータを点滅させることもできます。</p> <p>橙色のシステム状態インジケータは、システムに問題があり、注意を必要としている場合に点滅します。</p>
ハードドライブ動作インジケータ	<p>緑色のハードドライブ動作インジケータは、ハードドライブが動作中に点滅します。</p>
ハードドライブ状態インジケータ	<p>緑色のハードドライブ状態インジケータは、ドライブの準備ができ、正常に機能している場合に点灯します。状態インジケータは、ドライブがシステムに搭載されておらず、RAID ボリュームまたは非 RAID ボリュームの一部として構成されていない場合、またはオペレーティングシステムあるいは RAID コントローラで認識できない場合に消灯します。</p> <p>緑色の状態インジケータはドライブがメンバーであるボリュームが再構築中に点滅します。</p> <p>橙色の状態インジケータは、ドライブに障害が起きた際に点滅します。</p>
NIC1 および NIC2 リンクインジケータ	<p>2 つの内蔵ネットワークアダプタ用のインジケータは、ネットワークアダプタがネットワークに接続されている場合に点灯します。</p> <p>インジケータは、データが送受信中に点滅します。</p>
電源インジケータ	<p>緑色のインジケータは、システムに AC 電源が利用可能で、システムの電源が入っていない場合に点滅します。</p> <p>システムの電源を入れると、緑色のインジケータが点灯します。</p> <p>システムが AC 電源に接続されていない場合、緑色のインジケータは消灯しています。</p>

外付けデバイスの接続

システムに外付けデバイスを接続する際は、次のガイドラインに従ってください。

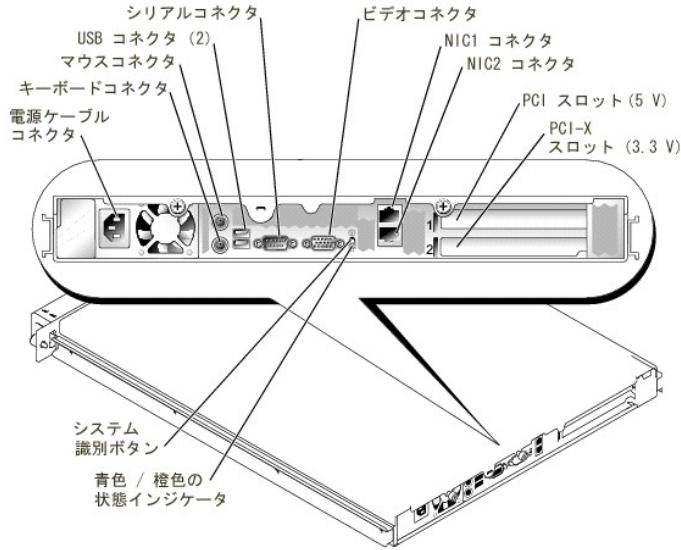
- ほとんどのデバイスは特定のコネクタに接続する必要があります。また、デバイスドライバをインストールしないとデバイスは正常に動作しません。(デバイスドライバは、通常、オペレーティングシステムソフトウェアまたはデバイス本体に付属しています。) デバイスに固有の取り付け手順および設定手順がないか、デバイスに付属のマニュアルを確認してください。
- 外付けデバイスは、必ずシステムの電源がオフのときのみ取り付けます。次に、外付けデバイスの電源を入れてからシステムの電源を入れます (デバイスのマニュアルに特別の指示がない限り)。システムがデバイスを認識しない場合は、システムの電源を入れてからデバイスの電源を入れます。

各コネクタについては、『インストール&トラブルシューティング』の「I/O コネクタ」を参照してください。I/O ポートやコネクタを有効または無効にする方法、および設定方法については、「[セットアップユーティリティの使い方](#)」を参照してください。

背面パネルの機能

図 1-2 に、システムの背面パネルの機能を示します。

図 1-2. 背面パネルの機能



システムの機能

- 1 1 U ラック設置可能型シャーシ
- 1 クロックスピード 2.8 GHz 以上、FSB 速度 800 MHz 以上の Intel® Pentium® 4 プロセッサ、クロックスピード 3.4 GHz 以上、FSB 速度 800 MHz 以上の Intel Celeron® プロセッサ、またはクロックスピード 2.4 GHz 以上、FSB 速度 400 MHz 以上の Intel Celeron プロセッサ
- 1 システムでのソフトウェア / ハードウェア RAID、および外付けストレージシステムでのハードウェア RAID をサポート
- 1 512 MB 以上の PC-3200 DDR400 SDRAM メモリ。システム基板の 4 つのメモリモジュールソケットにメモリモジュールを取り付けることによって、最大 4 GB にアップグレード可能
- 1 64 ビット / 66 MHz 3.3 V PCI-X 拡張スロットが 1 つ、および 32 ビット / 33 MHz 5 V PCI 拡張スロットが 1 つ。両方のスロットがフルハイトとハーフレンゲスカードをサポート
- 1 最大で 4 台の SATA ドライブをサポートする、オプションのドーターカードドライブコントローラ
- 1 テープバックアップ用のオプションの 39160 SCSI カード
- 1 オプションの外付け SCSI RAID ソリューション
- 1 オプションの SATA RAID ソリューション
- 1 オプションのリモートシステム管理用リモートアクセスコントローラ
- 1 280 W の電源装置が 1 台
- 1 10 Mbps、100 Mbps、および 1000 Mbps のデータ転送速度をサポートする内蔵 Gigabit Ethernet ネットワークアダプタ が 2 つ
- 1 システム冷却ファンが 3 つと電源装置冷却ファンが 2 つ
- 1 コンソールリダイレクション用のシリアルコネクタ
- 1 シャーシインテリジェント検出を含むセキュリティ機能
- 1 重大なシステムの電圧および温度を監視するシステム管理回路。システム管理回路は、システム管理ソフトウェアと連動します。

各機能の詳細については、「仕様」を参照してください。

ソフトウェアの機能

- 1 Microsoft® Windows® Storage Server 2003, Standard Edition
- 1 UNIX®, Novell® NetWare®, および Macintosh 用のサービス (オペレーティングシステムに組み込み)
- 1 TCP/IP、DHCP (クライアントサポート)、DNS (クライアントサポート)、NIS (クライアントサポート)、IPX、および AppleTalk 用のプロトコルサポート
- 1 Dell OpenManage™ Array Manager を介したディスク管理
- 1 シャドウコピースナップショットソフトウェア
- 1 システムのコンポーネントおよびデバイスを評価するための Diagnostics (診断) プログラム。Diagnostics (診断) プログラムの使用法の詳細については、『インストール&トラブルシューティング』を参照してください。

オペレーティングシステム


お使いのシステムにはオペレーティングシステムがプリインストールされています。オペレーティングシステムの使用法およびウェブベースのシステムの管理ツールについては、システムの『管理者ガイド』を参照してください。

電源保護装置


電圧変動や停電などの影響からシステムを保護するためのデバイスがあります。

- 1 PDU — AC 電流量が PDU の値を超えないようにするために回路ブレーカーを使用します。
- 1 サージプロテクタ — 雷雨中に発生する可能性のある電圧スパイクが、コンセントを介してシステムに侵入するのを防ぎます。サージプロテクタは、電圧が通常の AC ライン電圧レベルより 20 % 以上低下した際に起こる電圧低下に対しては保護できません。
- 1 ラインコンディショナー — システムの AC 電源電圧をほぼ一定に保ち、短時間の電圧低下から保護しますが、完全な停電からは保護できません。
- 1 UPS — AC 電源が使用できない場合に、バッテリーから電力を供給してシステムを動作し続けます。バッテリーは AC 電源が利用可能な間に充電されます。AC 電力が供給されなくなると、15 分から約 1 時間の限られた時間、バッテリーからシステムに電力が供給されます。バッテリーで 5 分間しか電力を供給できない UPS では、システムのシャットダウンのみおこなうことができます。どの UPS もサージプロテクタおよび PDU と一緒に使用してください。UPS が UL の安全基準に合格していることを確認してください。

その他のマニュアル

 『システム情報ガイド』では、重要な安全および認可機関に関する情報について説明しています。保証に関する情報については、コンピュータに付属している冊子を参照してください。

- 1 ラックソリューションに付属の『ラック取り付けガイド』または『ラックインストール手順』では、システムのラックへの取り付け方法について説明しています。
- 1 『はじめに』は、お使いのシステムの初期セットアップの概要について説明しています。
- 1 『インストール&トラブルシューティング』では、システムのトラブルシューティング方法、およびシステムコンポーネントの取り付けや交換方法について説明しています。
- 1 『管理者ガイド』では、システムの設定、操作、および管理情報について説明しています。
- 1 システム管理ソフトウェアのマニュアルでは、ソフトウェアの機能、必要要件、インストール、および基本操作について説明しています。
- 1 システムとは別に購入したコンポーネントのマニュアルでは、これらのオプションの設定および取り付け方法について説明しています。
- 1 システム、ソフトウェア、マニュアルの変更について説明したアップデートがシステムに同梱されていることがあります。

 **メモ:** マニュアルの情報を変更した内容が含まれているので、必ずアップデートを最初にお読みください。

- 1 リリースノートまたは readme ファイルには、マニュアルの印刷後にシステムに追加された変更や、技術者および専門知識をお持ちのユーザーを対象とする、テクニカルリファレンスが記載されている場合があります。

テクニカルサポートを受けるには

このガイドの手順が理解できない場合、またはシステムが思った通りに動作しない場合、『インストール&トラブルシューティング』または『管理者ガイド』を参照してください。

Dell Enterprise Training and Certification がご利用いただけます。詳細については、www.dell.com/training を参照してください。このサービスは、すべての地域でご利用できるわけではありません。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

セットアップユーティリティの使い方

Dell™ PowerVault™ 745N NAS システム ユーザーズガイド

- [セットアップユーティリティの起動](#)
- [セットアップオプション](#)
- [システムパスワードとセットアップパスワードの機能](#)
- [パスワードを忘れたとき](#)
- [Asset Tag ユーティリティ](#)

システムセットアップの終了後、システム設定およびオプション設定を理解するために、セットアップユーティリティを起動します。後で参照できるように、表示される情報を記録してください。

セットアップユーティリティは、次のような場合に使用します。


- 1 ハードウェアを追加、変更、または取り外した後に、NVRAM に保存されたシステム設定を変更する場合
- 1 時間や日付などのユーザーが選択可能なオプションを設定または変更する場合
- 1 内蔵デバイスを有効または無効にする場合
- 1 取り付けられたハードウェアと設定の間の不一致を修正する場合

セットアップユーティリティの起動

- 1 システムの電源を入れるか再起動します。
- 2 次のメッセージが表示されたらすぐに <F2> を押します。


<F2> = System Setup

<F2> を押す前にオペレーティングシステムがロードし始めた場合、システムの起動が完了するのを待ってから、再度実行します。

 **メモ:** システムを正常にシャットダウンするには、お使いのシステムの『管理者ガイド』を参照してください。

エラーメッセージへの対応

特定のエラーメッセージに対応することで、セットアップユーティリティを起動することができます。システムの起動中にエラーメッセージが表示された場合、メッセージをメモしてください。セットアップユーティリティを起動する前に、『インストール&トラブルシューティング』の「システムビープコード」および「システムメッセージ」を参照して、メッセージの意味やエラー修正の方法を確認してください。


 **メモ:** メモリのアップグレード後、最初にシステムを起動した際に、通常、システムはメッセージを表示します。

セットアップユーティリティの使い方

[表 2-1](#) に、セットアップユーティリティ画面で情報を表示または変更したり、プログラムを終了するときに使うキーを一覧表示します。

表 2-1. セットアップユーティリティナビゲーションキー

キー	処置
上矢印または <Shift><Tab>	前のフィールドへ移動します。
下矢印または <Tab>	次のフィールドへ移動します。
スペースバー、<+>、<->、および左右矢印	フィールド内の設定を順に切り替えます。多くのフィールドでは、適切な値を直接入力することもできます。
<Esc>	変更をおこなった場合、セットアップユーティリティを終了してシステムを再起動します。
<F1>	セットアップユーティリティのヘルプファイルを表示します。

 **メモ:** ほとんどのオプションでは、変更内容が自動的に記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

セットアップオプション

Main 画面

セットアップユーティリティを起動すると、セットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。図 2-1 を参照してください。

図 2-1. メインセットアップユーティリティ画面

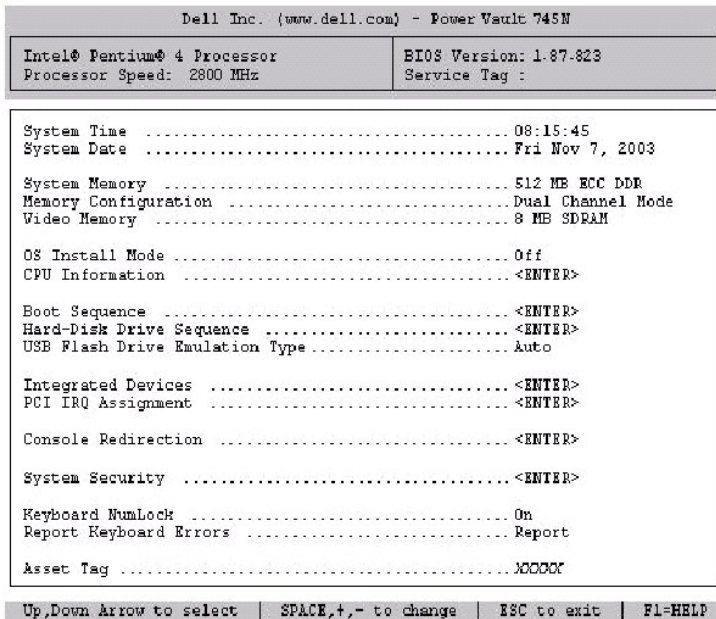


表 2-2 に、セットアップユーティリティのメイン画面に表示される情報フィールドのオプションおよび説明を一覧表示します。


 **メモ:** セットアップユーティリティのデフォルト設定は、該当する場合、それぞれのオプションの下に表示されています。

表 2-2. セットアップオプション

オプション	説明
System Time	システムの内部時計の時刻を設定します。
System Date	システムの内蔵カレンダーの日付を設定します。
System Memory	システムメモリの容量を表示します。このオプションには、ユーザーが選択できる設定はありません。
Memory Configuration	メモリ構成を表示します（シングルチャネルモードまたはデュアルチャネルモード）。
Video Memory	ビデオメモリの容量を表示します。このオプションには、ユーザーが選択できる設定はありません。
OS Install Mode (デフォルトは Off)	オペレーティングシステムが利用可能なメモリの最大容量を指定します。On は最大容量を 256 MB に設定します。Off に設定すると、すべてのシステムメモリをオペレーティングシステムで利用できるようになります。オペレーティングシステムの中には 2 GB 以上のメモリを搭載したシステムにインストールできないものもあります。オペレーティングシステムをインストール中はこのオプションを有効にし (On)、インストールが終了したら無効にします (Off)。
CPU Information (デフォルトは Logical Processor Enabled)	マイクロプロセッサに関する情報を表示します (速度、キャッシュサイズなど)。 ハイパースレッディングをサポートするプロセッサが取り付けられている場合は、この機能を有効または無効にすることができます。
Boot Sequence	システム起動時にシステムが起動デバイスを検索する順番を決定します。利用可能なオプションは、ディスクドライブ、CD ドライブ、ハードドライブ、およびネットワークです。
Hard-Disk Drive Sequence	システム起動時にシステムがハードドライブを検索する順番を指定します。お使いのシステムに取り付けられているハードドライブによって、選択肢が異なります。
USB Flash Drive Emulation Type (デフォルトは Auto)	USB フラッシュドライブのエミュレーションタイプを指定します。利用可能なオプションは、Auto、Hard disk、および Floppy です。

Integrated Devices	「 Integrated Devices 画面 」を参照してください。
PCI IRQ Assignment	PCI バスの各内蔵デバイスに割り当てられている IRQ、および IRQ を必要とするすべての搭載済み拡張カードを変更できる画面を表示します。
Console Redirection	「 Console Redirection 画面 」を参照してください。
System Security	システムパスワードおよびセットアップパスワードの機能を設定する画面を表示します。詳細については、「 システムパスワードの使い方 」および「 セットアップパスワードの使い方 」を参照してください。
Keyboard NumLock (デフォルトは On)	101 または 102 キーのキーボードで (84 キーのキーボードには適用されません)、NumLock モードが有効な状態でシステムが起動するかどうかを指定します。
Report Keyboard Errors (デフォルトは Report)	POST 中のキーボードエラーの報告を有効または無効にします。キーボードが取り付けられたホストシステムでは、このオプションを有効にします。Do Not Report を選ぶと、POST 中に検出されたキーボードまたはキーボードコントローラに関連するすべてのエラーメッセージが省略されます。キーボードがシステムに取り付けられている場合、この設定はキーボード自体の操作に対する影響はありません。
Asset Tag	Asset Tag ナンバーが割り当てられている場合、ユーザーがプログラム可能なシステムの Asset Tag ナンバーを表示します。10 文字までの管理タグ番号を NVRAM に割り当てると、「 Asset Tag ユーティリティ 」を参照してください。

Integrated Devices 画面

[表 2-3](#) に、Integrated Devices 画面に表示される情報フィールドのオプションおよび説明を一覧表示します。

表 2-3. Integrated Devices 画面オプション

オプション	説明
USB Controller (デフォルトは On with BIOS support)	システムの USB ポートを有効または無効にします。オプションは、On with BIOS support、On without BIOS support、または Off です。USB ポートを無効にすると、他のデバイスがシステムリソースを利用できるようになります。
Embedded Gb NIC1 Embedded Gb NIC2	システムの内蔵ネットワークアダプタを有効または無効にします。オプションは、Enabled without PXE、Enabled with PXE、および Disabled です。PXE サポートによって、システムをネットワークから起動できます。変更はシステムの再起動後に有効になります。
Embedded Gb NIC1 MAC Address Embedded Gb NIC2 MAC Address	各内蔵ネットワークアダプタの MAC アドレスを表示します。このフィールドには、ユーザーが選択できる設定はありません。
Serial Port (デフォルトは Auto)	シリアルポートのオプションは、COM1、COM3、Auto、および Off です。 シリアルポートが Auto に設定されている際、内蔵ポートは自動的に COM1 を最初に使用し、次に COM3 を使用します。両方のアドレスが使用されている場合、ポートは無効になります。 シリアルポートを Auto に設定して、同じ指定先に設定されたポートを持つ拡張カードを追加した場合、システムは内蔵ポートを次の利用可能な同じ IRQ 設定を共有しているポート指定に、自動的に再マップします。
Speaker (デフォルトは On)	内蔵スピーカーを On または Off にします。このオプションへの変更はただちに有効になります (再起動は必要ありません)。

System Security 画面

[表 2-4](#) に、System Security 画面に表示される情報フィールドのオプションおよび説明を一覧表示します。

表 2-4. System Security 画面オプション

オプション	説明
System Password	お使いのシステムのパスワードセキュリティ機能の現在の状態が表示され、新しいシステムパスワードを設定したり確認することができます。 メモ: システムパスワードの設定、および既存のシステムパスワードの使用または変更については、「 システムパスワードの使い方 」を参照してください。
Password Status	Setup Password オプションを Enabled に設定すると、システム起動時にシステムパスワードを変更したり、無効にすることはできません。 システムパスワードをロックするには、まず Setup Password オプションでセットアップパスワードを設定して、次に Password Status オプションを Locked に変更します。この状態では、System Password オプションを使ってシステムパスワードを変更したり、システム起動時に <Ctrl><Enter> を押してパスワードを無効にすることはできません。 システムパスワードのロックを解除するには、まず Setup Password フィールドにセットアップパスワードを入力して、次に Password Status オプションを Unlocked に変更します。この状態では、システム起動時に <Ctrl><Enter> を押してシステムパスワードを無効にした後、System Password オプションを使ってシステムパスワードを変更することができます。
Setup Password	システムパスワード機能を使ってシステムへのアクセスを制限するのと同じ要領で、セットアップユーティリティへのアクセスを制限できます。 メモ: セットアップパスワードの設定、および既存のセットアップパスワードの使用または変更については、「 セットアップパスワードの使い方 」を参照してください。
Power Button	システムの電源を切り入れたりします。 1 ACPI 対応のオペレーティングシステムを実行している場合、電源ボタンを使ってシステムの電源を切る際に、システムは電源が切れる前に正常なシャットダウンを実行することができます。 1 システムが ACPI 対応のオペレーティングシステムを実行していない場合、電源ボタンを押すと電源はただちに切れます。 ボタンは、セットアップユーティリティで有効になっています。無効に設定すると、システムの電源を入れる場合にのみボタンを使用できます。

	メモ: Power Button オプションが Disabled に設定されていても、電源ボタンを使ってシステムの電源を入れることは可能です。オプション設定が Disabled に変更されても、次のシステム起動時まで有効にはなりません。電源ボタンは POST 間はずっと有効で、オペレーティングシステムが起動する前に無効になります。
Chassis Intrusion	システムに RAC (リモートアクセスコントローラ) が搭載されていない場合、このフィールドはシャーンイントルージョン検出機能を有効または無効にします。このオプションが Enabled-Silent に設定されている場合、シャーンイントルージョンは検出されませんが、システム起動時に警告メッセージは報告されません。このオプションが Enabled に設定されている場合、シャーンカバーが取り外されると、Detected がフィールドに自動的に表示されます。イントルージョンを確認し、将来のセキュリティ侵害に備えるには、いずれかの編集キーを押します。 システムにリモートアクセスカードが搭載されている場合、このオプションは表示されません。
AC Power Recovery	このオプションが On に設定されている場合、電源障害後に電源が回復するとシステムは自動的に起動します。このオプションが Last に設定されている場合、システムは電源障害前の状態に戻ります。
NMI Button	システム基板上の NMI (マスク不能型割り込み) スイッチを有効または無効にします。 訓練を受けたサービス技術者がシステムがロックアップした後に NMI スイッチを押した場合、オペレーティングシステムはシステムメモリの内容を診断の目的でシステムのハードドライブにコピーします。

Console Redirection 画面

表 2-5 に、Console Redirection 画面に表示される情報フィールドのオプションおよび説明を一覧表示します。

表 2-5. Console Redirection 画面オプション

オプション	説明
Console Redirection (デフォルトは Off)	コンソールリダイレクション機能を有効または無効にします。有効に設定した場合、オプションは Serial Port 1 (RAC [リモートアクセスカード] が取り付けられていない場合)、または RAC (RAC が取り付けられている場合) です。
Remote Terminal Type (デフォルトは VT 100/VT 220)	VT 100/VT 220 または ANSI のいずれかを選択します。
Redirection After Boot (デフォルトは Enabled)	システム再起動後、コンソールリダイレクションを有効または無効にします。

Exit 画面

<Esc> を押してセットアップユーティリティを終了すると、Exit 画面が以下のオプションを表示します。

- 1 Save Changes and Exit (変更を保存して終了)
- 1 Discard Changes and Exit (変更を保存せずに終了)
- 1 Return to Setup (セットアップへ戻る)

システムパスワードとセットアップパスワードの機能

- **注意:** パスワード機能は、システム内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。より強固なセキュリティが必要なデータについては、データ暗号化プログラムなどの保護機能をご使用ください。
- **注意:** システムパスワードを設定せずに動作中のシステムから離れた場合、システムをロックせずに放置した場合、第三者がジャンパの設定を変更して、パスワード機能を無効にすることができます。

お使いのシステムは、出荷時にはシステムパスワード機能が有効になっていません。システムのセキュリティが必要な場合、システムパスワード保護機能を有効にしてシステムを操作してください。

既存のパスワードを変更したり削除するには、そのパスワードを事前知っておく必要があります (『[既存のシステムパスワードの消去と変更](#)』を参照)。パスワードを忘れると、訓練を受けたサービス技術者がパスワードジャンパの設定を変更してパスワードを無効にし、既存のパスワードを消去するまで、システムを操作したり、セットアップユーティリティの設定を変更することはできません。この手順は、『インストール&トラブルシューティング』に記載されています。

システムパスワードの使い方

システムパスワードを設定すると、パスワードを知っているユーザーでなければ、システム的全機能を使用することはできません。System Password オプションが Enabled に設定されている場合、システムパスワード要求のプロンプトがシステムの起動後に表示されます。

システムパスワードの設定

システムパスワードを設定する前に、まずセットアップユーティリティを起動して、System Password オプションを確認します。

システムパスワードが設定されている場合、System Password オプションの設定は Enabled です。Password Status が Unlocked に設定されている場合、システムパスワードを変更できます。Password Status オプションが Locked に設定されている場合、システムパスワードは変更できません。ジャンパ設定によってシステムパスワード機能が無効になっている場合、設定は Disabled で、システムパスワードを変更したり新しいシステムパスワードを入力することはできません。


システムパスワードが設定されておらず、システム基板上のパスワードジャンパが有効な位置（デフォルト）に設定されている場合、System Password オプションは Not Enabled と表示され、Password Status フィールドは Unlocked と表示されます。システムパスワードを設定するには、次の手順を実行します。

1. Password Status オプションが Unlocked に設定されていることを確認します。
2. System Password オプションをハイライト表示して、<Enter> を押します。
3. 新しいシステムパスワードを入力します。

パスワードには 32 文字まで使用できます。

それぞれの文字キー（または空白としてのスペースバー）を押すごとに「*」が表示されます。

パスワードの設定では、大文字と小文字は区別されません。ただし、無効なキーの組み合わせもあります。そのような組み合わせで入力すると、システムからビーブ音が鳴ります。入力した文字を消去する場合は、<Backspace> を押します。

 **メモ:** システムパスワードの設定を途中で中止したい場合、<Enter> を押して別のフィールドに移動するか、手順 5 を終了する前に <Esc> を押します。


4. <Enter> を押します。
5. パスワードを確認するために、再度パスワードを入力して <Enter> を押します。

System Password の設定表示が Enabled に変わります。セットアップユーティリティを終了して、システムを使用します。

6. ここでシステムを再起動してパスワード保護機能を有効にするか、作業を続けます。

 **メモ:** システムを再起動するまで、パスワード保護機能は有効になりません。

システムを保護するためのシステムパスワードの使い方

 **メモ:** セットアップパスワードを設定している場合（「[セットアップパスワードの使い方](#)」を参照）、システムはセットアップパスワードをシステムパスワードの代用として受け付けます。

Password Status オプションが Unlocked に設定されている場合、パスワードセキュリティを有効または無効にできます。

パスワードセキュリティを有効にするには、次の手順を実行します。

1. システムの電源を入れるか、<Ctrl><Alt> を押してシステムを再起動します。
2. <Enter> を押します。
3. パスワードを入力して、<Enter> を押します。

パスワードセキュリティを無効にするには、次の手順を実行します。


1. システムの電源を入れるか、<Ctrl><Alt> を押してシステムを再起動します。
2. <Ctrl><Enter> を押します。

Password Status オプションが Locked に設定されている場合、システムを起動したり <Ctrl><Alt> を押して再起動するたびに、プロンプト画面でパスワードを入力して <Enter> を押します。

正しいシステムパスワードを入力して <Enter> を押すと、システムは通常どおりに動作します。

間違ったシステムパスワードが入力された場合、システムはメッセージを表示し、パスワードを再入力するよう求めます。3 回目までに正しいパスワードを入力します。間違ったパスワードが 3 回入力されると、システムは間違ったパスワードの入力回数を表示するエラーメッセージを表示し、システムが停止して、シャットダウンします。このメッセージは、認証されていないユーザーがシステムの使用を試みたことを警告します。

システムをシャットダウンして再起動しても、正しいパスワードが入力されるまでのエラーメッセージは表示されます。

 **メモ:** Password Status オプションの他に System Password と Setup Password オプションも併用すると、システムを無許可の変更からさらに保護することができます。

既存のシステムパスワードの消去と変更

1. プロンプトが表示されたら、<Ctrl><Enter> を押して既存のシステムパスワードを無効にします。

セットアップパスワードを入力するよう求められた場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。


2. POST 中に <F2> を押して、セットアップユーティリティを起動します。
3. System Security 画面フィールドを選んで、Password Status オプションが Unlocked に設定されていることを確認します。
4. プロンプトが表示されたら、システムパスワードを入力します。
5. System Password オプションに Not Enabled と表示されていることを確認します。

System Password オプションに Not Enabled と表示されている場合、システムパスワードは消去されています。System Password オプションに Enabled と表示されている場合は、<Alt><Cb> を押してシステムを再起動し、手順 2 ~ 手順 5 を繰り返します。

セットアップパスワードの使い方

セットアップパスワードの設定

セットアップパスワードは、Setup Password オプションが Not Enabled に設定されている場合にのみ、設定（または変更）することができます。セットアップパスワードを設定するには、Setup Password オプションをハイライト表示して、<+> または <-> キーを押します。パスワードの入力と確認のプロンプトが表示されます。パスワードに使用できない文字を指定すると、システムからピープ音が鳴ります。

 **メモ:** セットアップパスワードとシステムパスワードは同じでも構いません。それら 2 つのパスワードが異なる場合でも、セットアップパスワードをシステムパスワードの代わりに使用することができます。ただし、システムパスワードは、セットアップパスワードの代わりに使用することはできません。

パスワードには 32 文字まで使用できます。

それぞれの文字キー（または空白としてのスペースバー）を押すごとに「*」が表示されます。

パスワードの設定では、大文字と小文字は区別されません。ただし、無効なキーの組み合わせもあります。そのような組み合わせで入力すると、システムからピープ音が鳴ります。入力した文字を消去する場合は、<Backspace> または左矢印キーを押します。


パスワードの確認が終わると、Setup Password の設定は Enabled に変わります。次回セットアップユーティリティを起動する際に、セットアップパスワードの入力を求められます。

Setup Password オプションへの変更は、ただちに有効になります（システムを再起動する必要ありません）。

セットアップパスワードが有効な場合の操作

Setup Password が Enabled に設定されている場合、正しいセットアップパスワードを入力しないと、ほとんどのセットアップオプションを変更できません。セットアップユーティリティを起動すると、プロンプトが表示され、パスワードを入力するよう求められます。

3 回以内に正しいパスワードを入力しないと、セットアップユーティリティ画面は表示されますが、次の例を除いて変更することはできません。System Password が Enabled に設定されておらず、また Password Status オプションを使ってロックされていない場合、システムパスワードを設定できます（ただし、既存のシステムパスワードを無効にしたり変更したりすることはできません）。

 **メモ:** Password Status オプションと Setup Password オプションを併用すると、無許可の変更からシステムパスワードを保護することができます。

既存のセットアップパスワードの消去と変更

1. セットアップユーティリティを起動して、**System Security** オプションを選びます。
2. **Setup Password** オプションをハイライト表示し、<Enter> を押してセットアップパスワードウィンドウにアクセスし、<Enter> を 2 回押して既存のセットアップパスワードを消去します。

設定は **Not Enabled** に変わります。


3. 新しいセットアップパスワードを設定する場合、「[セットアップパスワードの設定](#)」の手順を実行します。

パスワードを忘れたとき

『インストール&トラブルシューティング』を参照してください。

Asset Tag ユーティリティ

Asset Tag ユーティリティを使って、一意のトラッキング番号をシステムに設定することができます。この番号は、セットアップユーティリティのメイン画面に表示されます。


 **メモ:** Asset Tag ユーティリティは、MS-DOS® ベースのアプリケーションをサポートするオペレーティングシステムでのみ機能します。

Asset Tag ナンバーの割り当て

1. **NAS Manager** ウィンドウで、**メンテナンス** をクリックします。
2. **Server Administrator** (サーバー管理者) をクリックします。

プロンプト表示で、**Server Administrator** ページにログインします。

3. **Main System Chassis** (メインシステムシャーシ) をクリックします。
4. **Properties** (プロパティ) タブが開いていない場合、クリックして開きます。
5. **Information link** (情報リンク) をクリックします。
6. **Chassis Asset Tag** (シャーシ管理タグ) フィールドに値を入力して、**Apply** (適用) をクリックします。

 **メモ:** 詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。


[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)

Dell™ PowerVault™ 745N NAS システム ユーザーズガイド

● [メモ、注意、警告](#)

メモ、注意、警告

 **メモ:** 操作上、知っておくと便利な情報が記載されています。

 **注意:** ハードウェアの破損またはデータを損失する可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も記載されています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性を示します。

このマニュアルの内容は予告なしに変更されることがあります。
© 2003 すべての著作権はDell Inc.にあります。

Dell Inc. からの書面による許可なしには、いかなる方法においてもこのマニュアルの複写、転載を禁じます。

このマニュアルに使用されている商標: Dell, DELL のロゴ、PowerEdge、および Dell OpenManage は、Dell Inc. の商標です。Intel、Pentium、および Celeron は、Intel Corporation の登録商標です。Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。Novell および NetWare は、Novell, Inc. の登録商標です。Red Hat は、Red Hat, Inc. の登録商標です。米国およびその他の国において、UNIX は、The Open Group の登録商標です。

このマニュアルでは、上記以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

モデル SMU

2003年 11月 P/N C3563 Rev. A00

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

用語集

Dell™ PowerVault™ 745N NAS システム ユーザーズガイド

この章では、システムマニュアルで使用される技術用語、略語の意味を説明します。

A ampere (アンペア)
AC alternating current (交流)
ACPI Advanced Configuration and Power Interface。オペレーティングシステムによる設定および電源管理の直接的な命令を可能にする標準インタフェース
ANSI American National Standards Institute。米国の技術標準開発の主要組織
ASCII American Standard Code for Information Interchange (情報交換用米国標準コード)
Asset Tag セキュリティまたはトラッキング目的のために、通常、管理者がシステムに割り当てる個々のコード
BIOS basic input/output system (基本入出力システム)。システムの BIOS は、フラッシュメモリーチップに格納された複数のプログラムで構成されます。BIOS は、以下の事項を制御します。 <ul style="list-style-type: none">1 プロセッサと周辺機器間の通信1 システムメッセージなどの付属機能
BMC baseline management controller (ベースライン管理コントローラ)
BTU British thermal unit (英国熱量単位)
C セルシウス (摂氏)
CD compact disc (コンパクトディスク)。CD ドライブでは光学テクノロジーを使って、CD からデータを読み取ります。
COM n デバイスは、お使いのシステムでシリアルポート用に命名します。

DC

direct current (直流)

DDR

double-data rate (ダブルデータ速度)。出力速度を 2 倍にするメモリモジュールテクノロジー

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol。クライアントシステムに自動的に IP アドレスを割り当てる方法

Diagnostics (診断)

システム用の総合テストセット

DIMM

dual in-line memory module (デュアルインラインメモリモジュール)。**メモリモジュール**も参照してください。

DIN

Deutsche Industrie Norm (ドイツ工業規格)

DMA

direct memory access (ダイレクトメモリアクセス)。DMA チャンネルを使うと、RAM とデバイス間での特定の種類のデータ転送がプロセッサを介さずにおこなえるようになります。

DMI

Desktop Management Interface (デスクトップ管理インタフェース)。DMI を使うと、オペレーティングシステム、メモリ、周辺機器、拡張カード、および Asset Tag などのシステムコンポーネントの情報を収集することによって、お使いのシステムのソフトウェアとハードウェアを管理することができます。

DNS

Domain Name System (ドメイン名システム)。**www.dell.com** などのドメイン名を 143.166.83.200 などのような IP アドレスに置き換える方法

DRAM

dynamic random-access memory (ダイナミックランダムアクセスメモリ)。通常、システムの RAM は DRAM チップのみで構成されます。

DVD

digital versatile disc

ECC

error checking and correction (エラーチェックおよび訂正)

EEPROM

electronically erasable programmable read-only memory (電氣的に消去可能なプログラム可能読み取り専用メモリ)

EMC

electromagnetic compatibility (電磁環境両立)

EMI

electromagnetic interference (電磁波障害)

ESD
electrostatic discharge (静電気放出)
F
ファーレンハイト (華氏)
FAT
file allocation table (ファイル割り当てテーブル)。ファイルストレージを管理するために MS-DOS で使用されるファイルシステム構造
FSB
front-side-bus (フロントサイドバス)。FSB は、プロセッサとメインメモリ (RAM) 間のデータバスおよび物理インタフェースです。
ft
フィート
FTP
file transfer protocol (ファイル転送プロトコル)
g
グラム
G
重力
Gb
ギガビット。1 ギガビットは、1,024 メガビットまたは 1,073,741,824 ビットです。
GB
ギガバイト。1 GB は 1,024 MB (1,073,741,824 バイト) です。ただし、ハードドライブの容量を示す際に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。
h
hexadecimal (16 進法)。プログラミングで使用される 16 を基数とする記数法で、システムの RAM のアドレスやデバイスの I/O メモリアドレスを識別するために使われます。テキスト内では、16 進法の数字の後に h を付けます。
Hz
ヘルツ
I/O
input/output (入出力)。キーボードは入力デバイスであり、モニターは出力デバイスです。一般に、I/O 動作はコンピュータ計算とは区別することができます。
ID
identification (識別)
IDE
integrated drive electronics。システム基板とストレージデバイス間の標準インタフェース
IP
Internet Protocol (インターネットプロトコル)

IRQ

interrupt request (割り込み要求)。周辺機器からデータを送受信するときの信号は、IRQ を介してプロセッサに送られます。各周辺機器の接続には、IRQ 番号を割り当てなければなりません。2 つのデバイスは同じ IRQ 番号を共有できますが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

K

キロ。1,000 を表します。

Kb

キロビット。1 キロビットは 1,024 ビットです。

KB

キロバイト。1 キロバイトは、1,024 バイトです。

Kbps

1 秒あたりのキロビット数

KBps

1 秒あたりのキロバイト数

kg

キログラム。1 キログラムは、1,000 グラムです。

KMM

キーボード / モニター / マウス

KVM

キーボード / ビデオ / マウス。KVM は、画面が表示されているディスプレイおよびキーボードとマウスが使用されているシステムを選択できるスイッチです。

LAN

local area network (ローカルエリアネットワーク)。LAN は通常、すべての装置が LAN 専用の配線で結ばれている 1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。

lb

ポンド

LCD

liquid crystal display (液晶ディスプレイ)

LED

light-emitting diode (発光ダイオード)。電流が通過すると点灯する電子装置

Linux

さまざまなハードウェアシステム上で利用可能な UNIX[®] オペレーティングシステムのバージョン。Linux は無料で利用できるオープンソースソフトウェアですが、Red Hat Software のようなベンダーから、テクニカルサポートやトレーニングを伴った完全な形で提供が有償でなされています。

m

メートル

mA

ミリアンペア

MAC アドレス

Media Access Control (メディアアクセス制御) アドレス。お使いのシステムのネットワーク上での一意のハードウェア番号

Mb

メガビット。1 メガビットは、1,048,576 ビットです。

MB

メガバイト。1 メガバイトは、1,048,576 バイトです。ただし、ハードドライブの容量を示す際に、1,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

Mbps

メガビット / 秒

MBps

メガバイト / 秒

MBR

master boot record (マスタブートレコード)

MHz

メガヘルツ

mm

ミリメートル

ms

ミリ秒

MS-DOS

Microsoft Disk Operating System (マイクロソフトディスクオペレーティングシステム)

NAS

Network Attached Storage (ネットワーク接続ストレージ)。ネットワーク上に共有ストレージを実現するのに使用される概念の 1 つです。NAS システムは、特定のストレージニーズに対して最適化されたオペレーティングシステム、内蔵ハードウェア、およびソフトウェアを搭載しています。

NIC

network interface controller (ネットワークインタフェースコントローラ)。システムに取り付けられている、または内蔵されているデバイスで、システムがネットワークへ接続できるようになります。

NMI

nonmaskable interrupt (マスク不能型割り込み)。デバイスは、プロセッサにハードウェアエラーを知らせるために NMI を送信します。

NVRAM

nonvolatile random-access memory (不揮発性ランダムアクセスメモリ)。システムの電源を切っても、NVRAM の内容は失われません。NVRAM は、日付、時刻、システム設定情報の保持に使用されます。

PCI

Peripheral Component Interconnect (周辺機器相互接続)。ローカルバスの標準規格です。
PDU power distribution unit (配電装置)。ラック内のサーバーやストレージシステムに電力を供給する複数のコンセントの付いた電源
PGA pin grid array (ピングリッドアレイ)。プロセッサチップの取り外しが可能なプロセッサソケット
POST power-on self-test (電源投入時の自己診断)。システムの電源が入ると、オペレーティングシステムをロードする前に、POST が RAM やハードドライブなどのさまざまなシステムコンポーネントをテストします。
PS/2 Personal System/2
PXE Preboot eXecution Environment (ブリブート実行環境)。(ハードドライブまたは起動ディスクなしで) LAN を介してシステムを起動する方法です。
RAC remote access controller (リモートアクセスコントローラ)
RAID redundant array of independent disks。データの冗長性を提供する手法の 1 つ。使用頻度の高い RAID は、RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 です。 ガーディング、ミラーリング、およびストライピングも参照してください。
RAM random-access memory (ランダムアクセスメモリ)。プログラムの命令やデータを保存するシステムの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、システムの電源が切れるとすべて失われます。
RAS Remote Access Service (リモートアクセスサービス)。このサービスを使うと、Windows オペレーティングシステムを実行しているユーザーは、モデムを使ってユーザーのシステムからネットワークにリモートでアクセスできます。
readme ファイル ソフトウェアまたはハードウェアに付属するテキストファイル。ソフトウェアまたはハードウェアのマニュアルの補助およびアップデート情報が記載されています。
ROM read-only memory (読み取り専用メモリ)。システムの動作に必要なプログラムのいくつかは ROM コードの中に保存されています。ROM チップは、システムの電源が切れた後もその内容を保持します。ROM 内にあるコードには、システムの起動ルーチンを開始するプログラムや POST などがあります。
ROMB RAID on Motherboard (マザーボード上の RAID)
rpm 1 分間あたりの回転数
SATA Serial Advanced Technology Attachment。システム基板とストレージデバイス間の標準インタフェース
SCSI

small computer system interface (小型コンピュータシステムインタフェース)。通常のポートよりも速いデータ転送レートを持つ I/O バスインタフェース
SDRAM synchronous dynamic random-access memory (同期ダイナミックランダムアクセスメモリ)
sec 秒
SMART Self-Monitoring Analysis and Reporting Technology。システム BIOS にエラーや障害があった場合に、ハードドライブが報告し、画面にエラーメッセージを表示するための技術です。
SMP symmetric multiprocessing (対称型マルチプロセッシング)。SMPは、高バンド幅リンクを介して接続され、オペレーティングシステムによって管理される 2 つ以上のプロセッサを搭載したシステムです。各プロセッサは、同じ I/O デバイスへアクセスを持ちます。
SNMP Simple Network Management Protocol。ネットワーク管理者がリモートでワークステーションを監視したり管理することができる標準インタフェース
SVGA super video graphics array (スーパービデオグラフィックスアレイ)。VGA と SVGA は、従来の規格よりも高解像度の色表示機能を持つビデオアダプタに関するビデオ規格です。
system.ini ファイル Windows オペレーティングシステム用の起動ファイル。Windows を起動すると、Windows は system.ini ファイルを調べて、動作環境に関する各種オプションを決定します。system.ini ファイルに記録されている情報には、どのようなビデオドライバ、マウスドライバ、およびキーボードドライバが Windows にインストールされているかなどが含まれます。
UNIX UNiversal Internet eXchange。Linux の基になったオペレーティングシステムで、C プログラム言語で書かれています。
UPS uninterruptible power supply (無停電電源装置)。UPSは、電気的な障害が起きた場合に、システムの電源が切れないようにするためのバッテリー電源装置です。
USB Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス)。USB コネクタは、マウスやキーボードなど USB に準拠した複数のデバイスに、単独接続ポイントを提供します。USB デバイスは、システムが起動中でも接続したり、取り外したりできます。
UTP unshielded twisted pair (シールドなしツイストペア)。会社や家庭でシステムを電話回線に接続するために使用されるケーブル
V ボルト
VAC volt alternating current (ボルト交流)
VDC volt direct current (ボルト直流)
VGA video graphics array (ビデオグラフィックスアレイ)。VGA と SVGA は、従来の規格よりも高解像度の色表示機能を持つビデオアダプタに関するビデオ規格です。

W

ワット

WH

ワット時

win.ini ファイル

Windows オペレーティングシステム用の起動ファイル。Windows を起動すると、Windows は win.ini ファイルを調べて、動作環境に関する各種オプションを決定します。また、win.ini ファイルには、ハードドライブにインストールされている Windows アプリケーションプログラムのオプションを設定するセクションも含まれています。

Windows Storage Server 2003

XML ウェブサービスを使用してソフトウェアの統合を可能にする Microsoft のソフトウェアテクノロジー。XML ウェブサービスは、通常接続されていないソース間でデータ通信を可能にする XML で書かれた再利用可能なサイズの小さいアプリケーションです。

XML

eXtensible Markup Language。XML は、共通の情報フォーマットを作成し、WWW (World Wide Web)、イントラネット、またはその他の環境でフォーマットおよびデータの両方を共有するための方法です。

アップリンクポート

別のハブまたはスイッチに接続する際に使用するネットワークハブまたはスイッチ上のポート。クロスオーバーケーブルを必要としません。

アプリケーション

ユーザーが、特定のタスクまたは一連のタスクを実行するのを助けるためのソフトウェア。アプリケーションプログラムは、オペレーティングシステムから実行されます。

ゲーディング

物理ドライブの 1 組がデータを保存し、もう 1 つのドライブがパリティデータを保存するデータ冗長の種類です。**ミラーリング**、**ストライピング**、および RAID も参照してください。

拡張カード

システム基板の拡張カードコネクタに挿入するネットワークカードまたは SCSI アダプタなどのアドインカード。拡張カードは、拡張バスと周辺機器間のインタフェースを提供することによって、システムに特殊な機能を追加します。

拡張カードコネクタ

システム基板またはライザーボード上にある、拡張カードを差し込むためのコネクタ

拡張バス

システムには、拡張バスが装着されています。この拡張バスによって、ネットワークアダプタなどの周辺機器のコントローラとプロセッサが通信をおこなうことができます。

キーの組み合わせ

同時に複数のキーを押すコマンド (たとえば、<Ctrl><Alt>)

起動ルーチン

システムを起動時に、すべてのメモリのクリア、デバイスの初期化、およびオペレーティングシステムのロードをおこなうプログラム。オペレーティングシステムが反応しない場合を除き、<Ctrl><Alt> を押してお使いのシステムを再起動することができます (**ウォームブート**とも呼ばれます)。オペレーティングシステムが反応しない場合、リセットボタンを押してシステムを再起動するか、またはシステムの電源を切り再起動する必要があります。

キャッシュ

データを高速検索するための、データまたは命令のコピーを保持する高速記憶領域。プログラムがキャッシュに存在するデータをディスクドライブに要求した場合、ディスクキャッシュユーティリティは、ディスクドライブからよりも RAM からより早くデータを取り出すことができます。

グラフィックモード

「x 個の水平ピクセル × y 個の垂直ピクセル × z 色数」で定義されるビデオモード

グループ

(DMI に関連した用語として) グループは、管理可能コンポーネントについての、一般情報または属性を定義するデータ構造です。

コプロセッサ

システムのプロセッサを特定の処理タスクから解放するチップ。たとえば、数値演算コプロセッサは数値演算処理を制御します。

コントローラ

プロセッサとメモリ間、またはプロセッサと周辺機器間のデータ転送を制御するチップ

コントロールパネル

電源ボタンや電源インジケータなどのインジケータやボタンを含むシステムの一部

コンベンショナルメモリ

RAM の最初の 640 KB。コンベンショナルメモリは、すべてのシステムに存在します。特別に設計されていない限り、MS-DOS[®] プログラムは、コンベンショナルメモリ内でのみ実行されます。

コンポーネント

(DMI に関連した用語として) コンポーネントは、オペレーティングシステム、コンピュータシステム、拡張カード、および周辺機器であり、DMI と互換性があります。各コンポーネントは、そのコンポーネントに関連して定義されているグループおよび属性で構成されています。

サービスタグ

テクニカルサポートを受けるためにデールにお電話をいただいた際、システムを識別するためにシステムに貼付されているバーコードラベル

システム基板

システムの主要回路基板で、システム基板は、プロセッサ、RAM、周辺機器のコントローラ、およびさまざまな ROM チップを含むシステムの内蔵コンポーネントを含みます。

システム設定情報

メモリに保存されたデータで、取り付けられているハードウェアの種類およびシステムの動作設定が記載されています。

システムディスク

起動ディスクを参照してください。

システムメモリ

RAM を参照してください。

ジャンパ

回路基板上の小さなブロックで、2 本以上のピンが出ています。ワイヤを格納しているプラスチック製のプラグが、ピンに被せられています。ワイヤはピンを繋ぎ回路を作ります。これにより基板に簡単な回路の変更方法を提供します。

周囲温度

システムが置かれている場所や部屋の温度

周辺機器

システムに接続される内蔵装置または外付け装置 (ディスクドライブ、キーボードなど)

シリアルポート

システムにモデムを接続するときに、最も多く使われる I/O ポート。システムのシリアルポートには、通常、9 ピンコネクタが使用されます。

ストライピング

ディスクストライピングは、アレイ内の 3 つ以上のディスクにデータを書き込みますが、各ディスクの一部のみを使用します。ストライプで使用される容量は、各ディスクで同じです。仮想ディスクは、アレイ内の同じディスク上の複数のストライプを使用することがあります。**ジャーニング、ミラーリング、および RAID** も参照してください。

セットアップユーティリティ

BIOS ベースのプログラム。システムのハードウェアを構成したり、パスワードによる保護などの機能を設定することによって、システムの動作をカスタマイズすることができます。セットアップユーティリティは NVRAM に保存されるため、設定は再度変更しない限り有効に維持されます。

ターミネータ

いくつかのデバイス (SCSI ケーブルの両端の最後のデバイスなど) は、ケーブル内の反射や不要信号を防止するため終端する必要があります。このようなデバイスを接続する場合は、デバイスのジャンパやスイッチの設定またはソフトウェアの設定を変更することによって、これらのデバイスの終端を有効または無効にする必要があります。

ディレクトリ

ディレクトリは、関連するファイルがディスク上で「逆ツリー」の階層構造になるようにします。各ディスクには、ルートディレクトリがあります。ルートディレクトリから枝分かれするディレクトリは、**サブディレクトリ**と呼ばれます。サブディレクトリの下には、さらに別のディレクトリが枝分かれする場合があります。

デバイスドライバ

オペレーティングシステムやその他のプログラムが周辺機器と正しくインタフェースできるようにするプログラム。ネットワークドライバなどの一部のデバイスドライバは、`config.sys` ファイルからロードするか、(通常は `autoexec.bat` ファイルから) メモリ常驻プログラムとしてロードする必要があります。その他のドライバには、プログラムを起動するときにロードする必要があるものがあります。

統合ミラーリング

2 台のドライブの同時物理ミラーリングを提供します。統合ミラーリング機能は、システムのハードウェアによって提供されます。**ミラーリング**も参照してください。

内蔵プロセッサキャッシュ

プロセッサに内蔵された命令キャッシュおよびデータキャッシュ

パーティション

`fdisk` コマンドを使用すると、パーティションと呼ばれる複数の物理セクションにハードドライブを分割できます。各パーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。各論理ドライブで `format` コマンドを使ってフォーマットする必要があります。

バス

システムのコンポーネント間の情報経路。システムには、拡張バスが搭載されています。この拡張バスによって、システムに接続されている周辺機器のコントローラとプロセッサが通信することができます。また、プロセッサと RAM 間の通信をおこなうためのアドレスバスとデータバスも搭載されています。

バックアップ

プログラムまたはデータファイルのコピー。不測の事態に備えて、定期的にシステムのハードドライブのバックアップを取ることをお勧めします。システムの設定を変更する前に、重要な起動ファイルをオペレーティングシステムからバックアップしてください。

バックアップバッテリー

システムの電源が切られている間、システム設定、日付および時刻の情報をメモリの特別なセクション内に保持するバッテリー

パリティ

データブロックに関連する冗長情報

ビーブコード

システムのスピーカーから流れるビーブ形式の診断メッセージ。たとえば、1 つのビーブ音、次に 1 つのビーブ音、そして 3 つの連続したビーブ音が聞こえた場合、ビーブコードは、1-1-3 です。

ピクセル

ビデオ画面上の単一の点。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオ解像度 (640 × 480 など) は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

ビット

システムが認識する情報の最小単位
<p>ビデオアダプタ</p> <p>モニターと連携してシステムのビデオ機能を実現するための論理回路。ビデオアダプタは、システム基板に組み込まれているか、または拡張スロットに差し込む拡張カードの場合もあります。</p>
<p>ビデオ解像度</p> <p>たとえば、800 × 600 というビデオ解像度は、横方向のピクセル、縦方向のピクセルが並んだ行列として表されます。特定の解像度でプログラムを表示するには、モニターが解像度をサポートし、適切なビデオドライバをインストールしなければなりません。</p>
<p>ビデオドライバ</p> <p>グラフィックモードのアプリケーションプログラムやおペレーティングシステムを、希望の色数と選択された解像度で表示するためのプログラム。ビデオアダプタに適合するビデオドライバが必要になる場合もあります。</p>
<p>ビデオメモリ</p> <p>ほとんどの VGA ビデオアダプタと SVGA ビデオアダプタには、システムの RAM とは別に、メモリチップが内蔵されています。ビデオメモリの容量は、主にプログラムが画面に表示できる色数に影響します（適切なビデオドライバおよびモニター性能で）。</p>
<p>フォーマット</p> <p>ファイルを保存するためにハードドライブやディスクを準備すること。無条件フォーマットをおこなうと、ディスクに保存されたすべてのデータが消去されます。</p>
<p>フラッシュメモリ</p> <p>システムに取り付けた状態で、ディスク内のユーティリティから再プログラムが可能な EEPROM チップの一種。ほとんどの EEPROM チップは特殊なプログラム用デバイスを使わなければ、書き込みできません。</p>
<p>ブレード</p> <p>プロセッサ、メモリ、およびハードドライブを組み込んだモジュール。モジュールは、電源装置とファンを搭載したシャーシに取り付けられます。</p>
<p>プロセッサ</p> <p>演算およびロジック機能の解釈と実行を制御する、システム内部のプライマリ計算チップ。1 つのプロセッサ用に書かれたソフトウェアを、別のプロセッサで実行するには、ほとんどの場合ソフトウェアを新しく書きなおす必要があります。CPU はプロセッサの同義語です。</p>
<p>ヘッドレスシステム</p> <p>キーボード、マウス、またはモニターを接続しなくても機能するシステムまたはデバイス。通常、ヘッドレスシステムは、インターネットブラウザを使用し、ネットワークを介して管理されます。</p>
<p>ホストアダプタ</p> <p>ホストアダプタによって、システムバスと周辺機器のコントローラ間の通信ができます。（ハードドライブコントローラサブシステムには、内蔵ホストアダプタ回路が組み込まれています。）SCSI 拡張バスをシステムに追加するには、適切なホストアダプタを取り付ける必要があります。</p>
<p>ミラーリング</p> <p>1 組の物理ドライブがデータを保存し、別の 1 つまたは複数の組のドライブがデータの複製コピーを保存するデータ冗長の種類です。ミラーリング機能は、ソフトウェアによって提供されます。ガーディング、統合ミラーリング、ストライピング、および RAID も参照してください。</p>
<p>メモリ</p> <p>基本的なシステムデータを保存するシステムの領域。システムには、内蔵メモリ（ROM や RAM）およびアドインメモリモジュール（DIMM）などの複数の種類のメモリを組み込むことができます。</p>
<p>メモリアドレス</p> <p>16 進法で表されるシステムの RAM 内の特定の位置</p>
<p>メモリモジュール</p> <p>システム基板に接続する DRAM チップを組み込んだ小型回路基板</p>

ユーティリティ

メモリ、ディスクドライブ、またはプリンタなどのシステムリソースを管理するためのプログラム

読み取り専用ファイル

編集や消去が禁止されているファイル

ローカルバス

ローカルバス拡張機能を持つコンピュータは、特定の周辺機器（ビデオアダプタ回路など）が従来の拡張バスを持つコンピュータよりも高速に動作するよう設計されています。**バス**も参照してください。

[目次ページに戻る](#)